

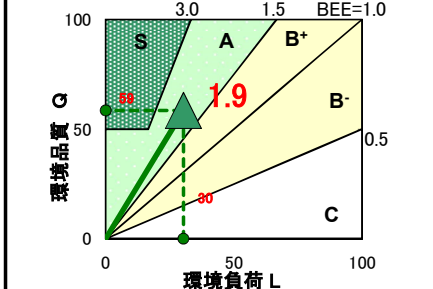
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	GLP JUSDA 堺プロジェクト	階数	地上4F
建設地	大阪府堺市堺区匠町1-16、1-17	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	300 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年1月 竣工	評価の実施日	2022年10月4日
敷地面積	49,994 m ²	作成者	本間 進太郎
建築面積	24,695 m ²	確認日	2022年10月28日
延床面積	91,342 m ²	確認者	安田 健太郎



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.9

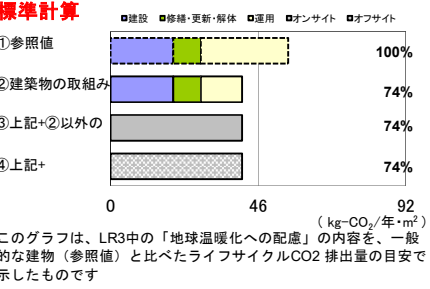
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

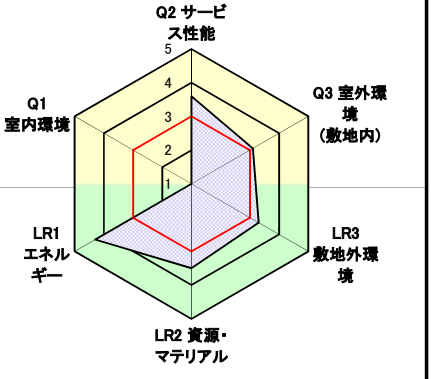
標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

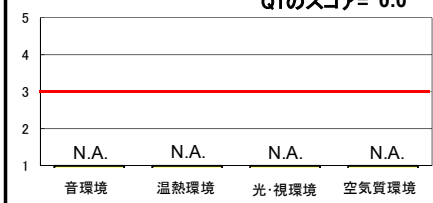


2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

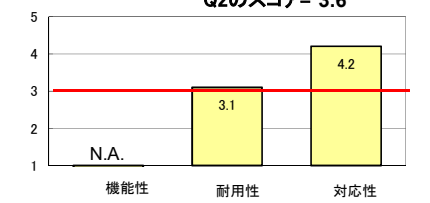
Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0



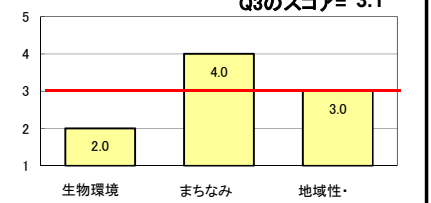
Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.6



Q3 室外環境(敷地内)

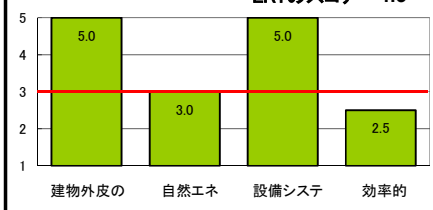
Q3のスコア= 3.1



LR のスコア = 3.7

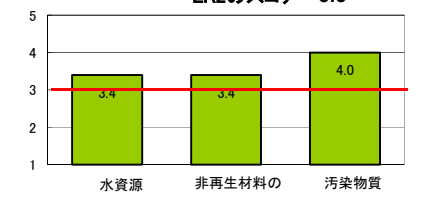
LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.3



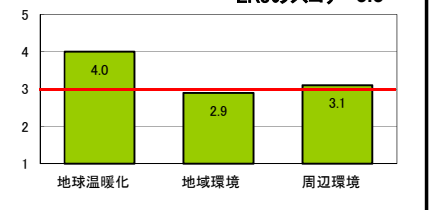
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.5



LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
物流施設として十分な天井高さを確保する事で機能効率性に配慮した設計としている。		
Q1 室内環境 対象外	Q2 サービス性能 壁長さ比率が小さく、設備・空間のプランニングの自由度が極めて高く、物流施設としての室内の機能性・使いやすさを確保している。	Q3 室外環境(敷地内) 緑地エリアに高木・低木を配する事で、景観に配慮すると共に敷地内温熱環境に配慮している。
LR1 エネルギー 事務所エリアは全熱交換器による外気負荷軽減、建物全体は照明器具LED採用等で1次エネルギー消費量削減を図っている。	LR2 資源・マテリアル 節水型衛生器具の採用等、資源の保護に配慮している。	LR3 敷地外環境 建築設備の排熱量低減を図った計画及び、従業員駐車場や駐輪場を確保し周辺の交通負荷抑制にも配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	GLP JUSDA 堺プロジェクト	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市堺区匠町1-16、1-17	1.9	A
	主用途/延床面積	工場 / 91,342.40 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	4	★★★★●
みどり・ヒートアイランド対策	2	★★●●●
エネルギー削減	5	★★★★★
建物の断熱性	5	★★★★★
安全快適な暮らし	3	★★★●●
自然エネルギー利用	—	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO ₂ 削減	評価項目	スコア	評価点	
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	4.0	4	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	2	
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		2.0
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		3.0
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値	2.0	
エネルギー削減	評価項目	スコア	5	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		5.0
建物の断熱性	評価項目	スコア	5	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		5.0
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	3	
	バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		0.0
	耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		3.0
	地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		3.0
	交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値	4.0	
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	—	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.0

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
断熱性能、設備システムの効率化により1次エネルギーの削減を図っている。	